

(限 内 部)

海軍公報 (部内限) 第三千七十五號

海軍大臣官房

昭和十三年十二月一日(木)

○令 達

官房第三一五七號ノ一二  
第十六驅逐隊ヨリ還納ノ通船三隻ヲ雜役船ニ編入シ其  
ノ船種、公稱番號、所屬等ヲ左ノ通定ム  
昭和十三年十二月一日

海軍大臣

船種	公稱番號	所 屬	定數別	記 事
傳馬船 (六米)	第三五七號	馬公要港部	定數	驅逐艦芙蓉還納ノ モノ
(同)	第三五六號	同	同	驅逐艦刈萱還納ノ モノ
(同)	第三五九號	同	同	驅逐艦朝靄還納ノ モノ

○辭 令

關東遞信官署遞信書記 塩 谷 潔  
海軍省事務囑託ノ報酬トシテ金四拾圓ヲ贈與ス

海軍省事務囑託ヲ解ク

同

三重野 巖

海軍省事務ヲ囑託ス(以上扶助海軍省)

海軍豫備中佐 高橋 重彦

海軍省事務囑託ノ報酬トシテ金百五拾圓ヲ贈與ス

海軍省事務囑託ヲ解ク

海軍豫備機關中尉 濱 慶房

海軍省事務ヲ囑託ス(以上扶助同)

氣象臺技師 伊藤小三郎

第四艦隊ニ於ケル氣象事務囑託ノ報酬トシテ金貳百  
圓ヲ贈與ス(扶助同)

海軍豫備大尉 峰岡 甲一  
同 篠田 良知

賜二級俸

氣象臺技師 隼田 公地

支那方面艦隊ニ於ケル事務ヲ囑託シ報酬年額貳千五  
百貳拾圓ヲ贈與ス

海軍公報(部内限) 第三千七十五號 昭和十三年十二月一日

一四一

1216

大藏事務官 長沼 弘毅  
南支海軍特務部ニ於ケル事務ヲ囑託ス(以上ナリ同)

○ 雜 款

○司令潜水艦變更  
第十三潜水隊司令ハ十一月二十九日司令潜水艦ヲ伊號  
第百二十一潜水艦ヨリ伊號第百二十二潜水艦ニ變更セリ  
○郵便物發送先  
第十一驅逐隊宛  
自 今 初雪(吳)

○着任  
新任 海軍大學校長海軍中將 高須 四郎 十一月五日着任

○學生着任期日  
今期入學スヘキ本校各種學生ハ十二月二十二日午前十  
時二十分入校式施行ニ付其ノ前日迄ニ着任セシメラレ  
度  
(海 軍 大 學 校)

○正誤  
本月二十九日公報(部内限)通牒欄海人第一六八號ノ二  
追書中「最奇」ハ「最寄」ノ、「昭和十二年十二月」ハ  
「昭和十年十二月」ノ誤

○試験問題發送  
第四十八期操縦練習生採用試験問題  
第五十一期普通科整備術練習生採用試験問題

右十一月二十七日左記ノ通發送濟ニ付未着ニシテ必要  
ノ向ハ最寄海軍人事部若シクハ霞ヶ浦海軍航空隊ニ通  
知セラレ度

記

- 一、聯合試験施行ノモノハ各海軍人事部長及要港部參謀長(舞鶴ハ舞鶴防備隊司令)宛送付
- 二、臨時所要ノ分トシテ單獨試験問題若干部數前記諸官及高雄海軍通信隊司令ヘ送付
- 三、單獨試験施行豫定ノ各部ニハ直送  
(霞ヶ浦海軍航空隊)

○艦船所在

▲印ハハカ  
指定ヲ要セズ

○十二月一日午前十時調

【横須賀】

對馬、夕張、鳳翔▲五十鈴▲山城、春日▲長門▲、口陸奥、口那珂、口島海▲、摩耶、

▷蒼龍、木曾、赤城、利根

▷晚、漣、狹霧、電、口天霧、朝霧、夕霧、

▷秋風▲、羽風▲、太刀風、夕風

▷伊二▲、伊四▲、伊六▲、伊七▲

掃五▲、掃六▲

富士▲、洲崎

(飛龍)▲(高崎)▲(劍埼)▲

【長浦】夏雲、朝雲、峯雲、沖風、神風、口響雷、

山雲

呂五四、呂五五、呂五六、呂五八、伊一、

伊三、伊五、伊一二三、伊一二四

掃二

掃一○

【石川島】

北上▲

(霞)▲(不知火)▲(掃八)▲

【館山】

澤風▲

波風

大泊

【函館】

吳竹▲ 矢矧、韓崎、比叡▲、淀、淺間、扶桑▲、古鷹▲

加古▲、大井、最上、日向、伊勢▲、鬼怒、夕顔、口熊野、鈴谷、三隈、口神通、龍鳳

白雪、吹雪、口浦波▲、綾波、口矢風、口白雲、

薄雲、叢雲、東雲、口朝風

呂五一、呂五三、呂二六▲、呂二七▲

呂二八▲、口呂三四、呂三三、伊五一▲

伊五三、伊五五、口伊五七、伊五六、

伊五八、口伊七二、伊七三、伊七一、

伊六六▲、伊六五▲、伊六七、伊七四、

伊一二一、伊一二二、口伊七〇、伊六八

雁

攝津、間宮、襟裳、石廊

(千代田)▲(伊一六)▲

(黒潮)▲

【大阪】伊五四▲、呂五七▲、呂五九▲

【神戸】(瑞穂)▲(伊八)▲(伊七五)▲

【相生】早稲▲

【玉】(掃七)▲

【因ノ島】口旗風、松風▲、春風▲

【江田内】平戸▲

【舞鶴】吾妻▲、高雄▲、長鯨▲、愛宕▲

敷波▲、磯波▲、帆風

伊五二▲

(霞)▲(陽炎)▲(親潮)▲(掃九)▲

【佐世保】

榛名、那智、常磐、名取、青葉、衣笠、霧島、金剛、由良、阿武隈、千歳、梨、竹、榎、桃、柳、檜、重、若葉、初霜、子日、初春、夕風、朝風、大潮、朝潮、滿潮、荒潮、峯風、如月、卯月、彌生、夕月、野風、沼風、文月、呂三〇、呂三一、呂三二、呂六〇、呂六一、呂六二、呂六四、呂六六、呂六五、呂六七、呂六八、呂六三、伊六三、伊五九、伊六〇、伊六四、伊六一、伊六二、伊六九、敷島、鶴見

【長】

(明石) (伊一八) 羽黒 佐多

【鎮海】

菟、柿、楡

【作業地】

出雲、安宅、鳥羽、勢多、堅田、比良、保津、熱海、二見、殿島、八重山、白鷹、川内、足柄、沖島、球磨、妙高、多摩、天龍、龍田、長良、加賀、神威、能登、勝力、迅鯨、巖峨、磐手、八雲、駒橋、栗、梅、蓮、夕立、村雨、春雨、五月雨、白露、有明、夕暮、時雨、江風、海風

【航海中】

涼風、山風、水無月、長月、薄、藤、菫、芙蓉、朝顔、刈萱、菊月、睦月、望月、三日月、追風、疾風、蓼、蓬、菱、島風、汐風、灘風、阜月、臘、潮、隼、鶴、鴨、鴻、千鳥、初雁、友鶴、真鶴、鳩、鷺、雉、掃一、掃三、掃四、掃一六、掃一三、掃一四、掃一五、掃一七、掃一八、朝日、膠州、隱戶、鳴戸、野島、知床

尻矢 (十一月二十三日羅府發「ホノルル」へ) 室戸 (十一月二十八日佐世保發「吳」へ)

# 海軍公報 (部内限) 第三千七十六號

昭和十三年十二月二日(金)  
海軍大臣官房

## ○令達

官房第五一六九號ノ二  
本年官房第五一六九號ハ之ヲ廢止ス

昭和十三年十一月十五日

海軍大臣

(参照) 本年官房第五一六九號ハ願遂繰放波ノ經費掌理ノ件ナリ

官房第二一六六九號ノ二六

昭和十三年度歳出科目中左ノ通追加ス

昭和十三年十一月二十八日

海軍大臣

## 特別會計

款	項	目	節	解説	會計科目 電信略號
海軍燃料廠 作業費 (事業費)		受託 研究費			
外國旅費					
					モヲ

## ○辭令

自今報酬ヲ給セズ(計部海軍省)

囑託 山田悌二郎

海軍艦政本部附兼造兵監督官海軍  
航空政本部造兵監督官海軍技師

逸見 昭房

東京監理官ヲ命ス

海軍艦政本部附兼造  
兵監督官海軍技師

中村 榮

大阪監理官ヲ命ス(以上計部海軍省)

海軍主計大尉 芝 直 昭

軍艦筑摩艦裝員ニ要スル經費支拂ノ爲メ臨時資金前  
渡官吏ヲ命ス

海軍主計兵曹長 道場 秀太郎

臨時資金前渡官吏ヲ免ス(計部支出官海軍省經理局  
長)

## ○雜款

海軍公報 (部内限) 第三千七十六號 昭和十三年十二月二日

一四一五

○進水  
驅逐艦親潮十一月二十九日舞鶴海軍工廠ニ於テ進水セリ

○將旗掲揚  
第二水雷戰隊司令官ハ十二月二十八日將旗ヲ神通ニ掲揚セリ

○司令驅逐艦一時變更  
第二十七驅逐隊司令ハ十一月三十日一時司令驅逐艦ヲ  
蓼ヨリ菱ニ變更セリ

○司令潜水艦復歸  
第十三潜水隊司令ハ十一月三十日司令潜水艦ヲ伊號第  
百二十二潜水艦ヨリ伊號第百二十一潜水艦ニ復歸セリ

○郵便物發送先  
第十戰隊司令部及軍艦天龍、龍田宛  
自今 各所屬軍港

第四十五驅逐隊  
司令、隊機關長、主計長宛 松風(因島)  
隊軍醫長宛 朝風(吳)

○被服物品未交付ノ件通知  
今期補充交代ニヨリ當隊ヨリ轉勤ノ應召員ハ本年達第一  
四一號ニ依ル被服物品交付未済ニ付各部ニ於テ交付

方御取計相成度

(上海海軍特別陸戰隊)

○艦船所在 印ハハカズ  
指定ヲ要セズ

○十二月二日午前十時調

【横須賀】 對馬、夕張、風翔、五十鈴、山城、春日、

長門、陸奥、那珂、鳥海、摩耶、

蒼龍、木曾、赤城、利根

曉、漣、狹霧、電、天霧、朝霧、夕霧、

秋風、羽風、太刀風、夕風

伊二、伊四、伊六、伊七

掃五、掃六

富士、洲崎

飛龍、高崎、劍崎

【長浦】 夏雲、朝雲、峯雲、沖風、神風、響雷、

山雲

呂五四、呂五五、呂五六、呂五八、伊一、

伊三、伊五、伊一二三、伊一二四

掃二

石川島 (掃一〇)

浦賀

北上 (不知火) (掃八)

館山

大湊

波風

大泊

函館

吳

矢矧、韓崎、比叡、淀、淺間、扶桑、古鷹

加古、大井、最上、日向、伊勢、鬼怒、

大鯨、熊野、鈴谷、三隈、神通、龍驤

夕顔、吹雪、浦波、綾波、矢風、東雲、

白雲、薄雲、叢雲、朝風

呂五一、呂五三、呂二六、呂二七、

呂二八、呂三四、伊五一

伊五三、伊五五、伊五七、伊五六、

伊五八、伊七二、伊七三、伊七一、

伊六六、伊六五、伊六七、伊七四、

伊一二一、伊一二二、伊七〇、伊六八

雁

攝津、間宮、襟裳、石廊、室戸

千代田 (伊一六)

大阪 (黒潮)

神戶 伊五四、呂五七、呂五九

瑞穂 (伊八) (伊七五)

相生 早鞆

玉 (掃七)

因ノ島 旗風、松風、春風

大三島 呂三三

江田内 平戸

舞鶴 吾妻、高雄、長鯨、愛宕

敷波、磯波、帆風

伊五二

【佐世保】

(霞)▲(陽炎)▲(親潮)▲(掃九)▲  
 榛名、那智、常磐、名取、青葉、衣笠、  
 霧島、金剛、由良、阿武隈、千歳▲  
 梨、竹、樞、桃、柳、檜、萱、若葉▲  
 初霜、子日、初春、夕風、朝風▲  
 大湖、朝潮、滿潮、荒潮、峯風、如月、  
 卯月、彌生、夕月、野風、沼風、文月、  
 呂三〇▲、呂三一▲、呂三二▲、呂六〇▲、  
 呂六一▲、呂六二▲、呂六四▲、呂六六▲、  
 呂六五▲、呂六七▲、呂六八▲、呂六三▲、  
 伊六三、伊五九、伊六〇、伊六四、  
 伊六一、伊六二、伊六九  
 敷島、鶴見、野島  
 (明石)▲(伊一八)▲

【長崎】

羽黒▲  
 佐多▲  
 (筑摩)▲

【鏡海】

葦、柿、  
 榦

【作業地】

出雲、安宅、鳥羽、勢多、堅田、比良、  
 保津、熱海、二見、殿島、八重山、白藤、  
 川内、足柄、沖島、球磨、妙高、多摩、  
 天龍、龍田、長良、加賀、神威、能登、  
 勝力、迅鯨、嵯峨、磐手、八雲、駒橋、  
 栗、梅、蓮、夕立、村雨、春雨、五月雨、

【航海中】

尻矢 (十一月二十三日羅府發「ホノルル」)

白露、有明、夕暮、時雨、江風、海風、  
 涼風、山風、水無月、長月、薄、藤、  
 萬、芙蓉、朝顔、刈萱、菊月、陸月、  
 望月、三日月、追風、疾風、蓼、蓬、  
 菱、島風、沙風、灘風、阜月、隴、  
 曙、潮  
 隼、鶴、鴨、鴻、千鳥、初雁、文鶴、  
 真鶴、鳩、鷺、雉  
 掃一、掃三、掃四、掃一六、掃一三、  
 掃一四、掃一五、掃一七、掃一八  
 朝日、膠州、隱戶、鳴戶、知床

# 海軍公報 (部内限) 第三千七十七號

昭和十三年十二月三日(土)  
海軍大臣官房

## ○令 達

官房機密第六一七號ノ三

海軍大臣

本年官房機密第六一七號中「吳鎮守府第四特別陸戦隊主計長」ヲ「第四防備隊主計長」ニ改ム

昭和十三年十二月一日

海軍大臣

(参照) 本年官房機密第六一七號ハ第一病院ノ經費掌理ノ件ナリ

官房第一〇八一號ノ三

海軍大臣

本年官房第一〇八一號ハ之ヲ廢止ス

昭和十三年十二月一日

海軍大臣

(参照) 本年官房第一〇八一號ハ第五驅逐隊所属驅逐艦ノ經費掌理ノ件ナリ

官房機密第六四七二號

左記ニ依リ海軍航空廠ニ於テ恒速「プロペラ」整備取

扱講習ヲ施行ス

各廳長ハ左記第五號ノ講習員ヲ派遣スルト共ニ其ノ官氏名ヲ海軍航空廠長ニ通報スベシ

昭和十三年十一月三日

海軍大臣

### 記

一、目的

恒速「プロペラ」整備取扱法ヲ習得セシムルニ在リ

二、講習項目

(一) 構造一般

(二) 組立分解検査法等

(三) 使用上ノ諸注意事項

三、講習期間

昭和十三年十二月二十日ヨリ四日間

四、指導官及同附

指導官 海軍航空廠長

指導官附 海軍航空廠職員 適宜

海軍公報 (部内限) 第三千七十七號 昭和十三年十二月三日

一四一九

五、講習員

霞ヶ浦、横須賀、館山、大村、横濱、佐世保、大分  
(假稱)各海軍航空隊及赤城、蒼龍、龍驤各航空母艦

准士官以上

各一名

下士官

各一名

廣、佐世保各海軍工廠

高等官

各一名

判任官

各一名

六、旅費

講習開始前日横須賀着講習終了當日同地發トシ軍事  
費雜費内國旅費出張旅費支辨請求ヲ俟テ別途配付ス

七、報告

講習指導官ハ講習終了後成ルベク速ニ實施經過ノ概  
要及成果竝ニ所見ヲ提出スベシ

○通牒

經豫機密第三號ノ一八

昭和十三年十二月一日

海軍省經理局長

關係各支出官、資金前渡官吏殿

日本通貨ト軍用手票ノ引換ヲ爲ス日本  
銀行代理店ニ關スル件通牒

首題ノ件ニ關シテハ十月三十一日經豫機密第三號ノ一  
三ヲ以テ通牒セル支那事變派遣部隊經費支辨軍用手票  
取扱手續ノ實行方ニ關スル件第四號ニ依ルコトニ相成  
居候處今般左記代理店ニ於テモ右ノ取扱ヲ爲ス旨大藏  
省ヨリ通知有之候條了知相成度

記

臺北代理店

高雄代理店

澎湖代理店

經豫第三號ノ三一四

昭和十三年十二月二日

海軍省經理局長

各支出官殿

支拂豫算ニ關スル件通牒

本年内又ハ來年早々支拂ニ要スル支拂豫算増額請求書  
ハ十二月十二日迄ニ當局ニ提出相成度

○辭令

<p>(各通)</p> <p>海軍大佐 元泉 威</p> <p>同 寺田 祐次</p> <p>同 中村 一夫</p> <p>海軍大尉 岡積 清治</p>	<p>特別俸ヲ賜フ</p>	<p>賜二級俸</p> <p>海軍軍醫中尉 有泉 馨</p> <p>同 須永 求馬</p> <p>同 高橋 英三郎</p> <p>同 横尾三右衛門</p> <p>同 吉村 太郎</p> <p>同 嶽間澤 昌彰</p> <p>同 上野 直一</p>	<p>賜一級(以上)海軍省)</p> <p>横須賀海軍經理部部員</p> <p>海軍主計少佐 森 寛</p> <p>艦隊經費分任出納官吏ヲ命ス</p> <p>支那方面艦隊經費分任出納官吏ヲ命ス</p> <p>海軍主計少佐 伊丹 廣</p> <p>艦隊經費分任出納官吏ヲ免ス</p> <p>支那方面艦隊經費分任出納官吏ヲ免ス(以上)支</p>
<p>出官海軍省經理局長)</p> <p>海軍主計中佐 古賀 正雄</p> <p>第二課勤務ヲ命ス(海軍省經理局)</p> <p>軍令部出仕海軍大佐 石井 敬之</p> <p>同 海軍中佐 山口 捨次</p> <p>同 同 中村 謙治</p> <p>同 海軍機關中佐 高橋 長之</p> <p>同 海軍主計中佐 三井 正義</p> <p>軍令部附海軍書記 小笠原 浩</p> <p>同 同 笹島 徳太郎</p> <p>滿洲國在勤帝國大使館附武官ノ命ヲ承ケ服務スベシ(海軍省令部)</p> <p>(各通)</p> <p>海軍技師 伊東 友彦</p> <p>同 砂見 淳一</p> <p>兼ヲ在神戸監督長ノ命ヲ承ケ服務スヘシ(海軍省令部)</p> <p>空本部)</p> <p>(各通)</p> <p>海軍大佐 堀内 多雄</p> <p>海軍中佐 垣田 照之</p> <p>海軍少佐 林田 如虎</p> <p>技術部第三課勤務ヲ命ス</p> <p>海軍機關中佐 北野 通俊</p>	<p>海軍公報(部内限) 第三千七十七號</p> <p>昭和十三年十二月三日</p> <p>一四二二</p>		

技術部第一課勤務兼第二課勤務第三課勤務總務部第一課勤務ヲ命ス

海軍造兵中佐 野村 元次

技術部第三課勤務ヲ命ス

在東京監督長ノ命ヲ承ケ服務スヘシ

海軍大佐 宮本 定知

(各通)

海軍機關大佐 赤坂 卯之助

海軍主計大佐 池澤 英男

海軍技師 逸見 昭房

在東京監督長ノ命ヲ承ケ服務スヘシ

海軍大佐 後藤 鐵五郎

在名古屋監督長ノ命ヲ承ケ服務スヘシ

同 日臺 虎治

(各通)

同 樋口 通達

同 酒井 一雄

在大阪監督長ノ命ヲ承ケ服務スヘシ

海軍整備特務中尉 坂本 詮夫  
補給部勤務ヲ命ス(以上一併同)

○ 雜 款

○司令驅逐艦變更

第十二驅逐隊司令ハ十二月一日司令驅逐艦ヲ白雪ヨリ東雲ニ變更セリ

○郵便物發送先

佐世保防備戰隊司令部宛

自今

佐世保防備隊

驅逐艦檢査

當分ノ間

雄 基

○ 艦船所在

指定ヲ要セズ

○十二月三日午前十時調

【横須賀】

對馬、夕張、風翔、五十鈴、山城、春日、長門、陸奥、那珂、島海、摩耶、

蒼龍、木曾、赤城、利根

曉、漣、狹霧、電、天霧、朝霧、夕霧、

秋風、羽風、太刀風、夕風

伊二、伊四、伊七

掃五、掃六

富士、洲崎、鳴戸

(飛龍)(高崎)(劍埼)

【長浦】夏雲、朝雲、峯雲、沖風、神風、響、雷、

山雲

呂五四、呂五五、呂五六、呂五八、伊一、

伊三、伊六、伊五、伊一二三、

伊一二四

掃二

【石川島】(掃一)

【浦賀】北上

(霞)(不知火)(掃八)

【館山】澤風

【大湊】波風

【函館】大泊

吳竹

【吳】

矢矧、韓崎、比叡、淀、淺間、扶桑、古鷹、加古、大井、最上、日向、伊勢、鬼怒、

大鯨、熊野、鈴谷、三隈、神通、龍驤

夕顔、菊、葵、萩、若竹、早苗、初雪、

白雪、吹雪、浦波、綾波、矢風、東雲、

白雲、薄雲、叢雲、朝風

呂五一、呂五三、呂二六、呂二七、

呂二八、呂三四、呂三三、伊五一、

伊五三、伊五五、伊五七、伊五六、

伊五八、伊七二、伊七三、伊七一、

伊六六、伊六五、伊六七、伊七四、

伊一二一、伊一二三、伊七〇、伊六八

雁 攝津、間宮、襟裳、石廊、室戸

(千代田)(伊一六)

【大阪】

(黒潮)

【神戸】

伊五四、呂五七、呂五九

(瑞穂)(伊八)(伊七五)

【相生】

早鞆

【玉】

(掃七)

【因ノ島】

旗風、松風、春風

【江田内】

平戸

【舞鶴】

吾妻、高雄、長鯨、愛宕

敷波、磯波、帆風

伊五二

海軍公報(部内限)第三千七十七號

昭和十三年十二月三日

一四二三

【佐世保】

(掖)▲(陽炎)▲(親潮)▲(掃九)▲

榛名、那智、常磐、名取、青葉、衣笠、

▽霧島▲、金剛▲、由良、▽阿武隈、千歲▲

梨▲、竹▲、榎▲、桃▲、柳▲、檜▲、董▲、▽水無月、

長月、▽若葉▲、初霜▲、子日▲、初春▲、

▽夕風▲、朝風▲、▽大潮、朝潮▲、滿潮、荒潮、

峯風▲、▽如月、卯月、彌生、夕月▲、▽野風、

沼風、文月

呂三〇▲、呂三一▲、呂三二▲、呂六〇▲、

呂六一▲、呂六二▲、呂六四、呂六六、

呂六五▲、呂六七、▽呂六八、呂六三、

▽伊六三、伊五九、伊六〇、▽伊六四、

伊六一、伊六二、伊六九

敷島▲、鶴見、野島

(明石)▲(伊一八)▲

【長崎】

羽黒▲、佐多▲

(筑摩)▲

【鎮海】

▽葦、柿

【作業地】

▽出雲、▽安宅、鳥羽、勢多、堅田、比良、

保津、熱海、二見、殿島、八重山、白鷹、

▽川内、▽足柄、沖島、▽球磨、▽妙高、多摩、

▽天龍、龍田、▽長良、▽加賀、神威、能登呂、

勝力、迅鯨、▽嵯峨、▽磐手、八雲、駒橋

【航海中】

尻矢 (十一月二十三日維府發上「ホノルル」へ)

栗、梅、蓮、▽夕立、村雨、春雨、五月雨、  
▽白露、有明、夕暮、時雨、▽江風、海風、  
涼風、山風、▽薄、藤、葛、▽芙蓉、朝顔、  
刈萱、▽菊月、睦月、望月、三月月、▽追風、  
疾風、▽蓼、蓬、菱、▽島風、汐風、濤風、  
卓月、▽臘、曙、潮  
▽隼、鶴、鴨、鴻、▽千鳥、初雁、友鶴、  
真鶴、▽鳩、鷺、雉  
▽掃一、掃三、掃四、▽掃一六、掃一三、  
掃一四、掃一五、掃一七、掃一八  
▽朝日、膠州、隠戸、知床

# 海軍公報 (部内限) 第三千七十八號

海軍大臣官房

昭和十三年十二月五日(月)

## ○令 達

官房第六〇〇二號 昭和十三年(舊曆)十一月八日  
ニテ本號廢止

達第六十四號ヲ以テ燃料ニ設定シタル一號石油及三號石油ハ當分ノ間之ヲ供給セズ艦營需品ノ一號石油及油ヲ從來通供給ノコトトス

昭和三十二年十二月一日

海軍大臣

## ○辭 令

海軍少佐 万膳 幸吉  
 軍令部ニ於ケル暗號書編纂事務囑託ヲ解ク

通信事務官 森田 操三  
 海軍省事務囑託ヲ解ク(以上海軍省)

海軍中佐 山田 武次  
 第二課勤務ヲ命ス(海軍省軍務局)  
 海軍少佐 和田 雄四郎

## 第二課勤務ヲ命ス

(各通)

## 第一課勤務ヲ命ス

## 第三課勤務ヲ命ス

## 第一課勤務ヲ命ス(以上各同)

同 松元 秀志  
 同 旭 龍雄

海軍機關中佐 今田 乾吉

海軍主計中佐 福田 萬作

## ○雜 款

○上海行大洋丸神戸發時刻變更  
 十一月二十二日海軍公報(部内限)附録中支及臺灣方面行便船中大洋丸神戸發時刻午前十一時ヲ十二月十一日ヨリ午前十時ノコトニ變更セラレタリ  
 (海軍省 副官)

○郵便物閉塞交換開始  
 特務艦襟裳北米方面行動中同艦ト横濱郵便局間ニ軍艦

(限 部)

廢止

海軍公報(部内限) 第三千七十八號 昭和十三年十二月五日

一四二五

1230

郵便ノ取扱ヲ行ハル

(海軍省副官)

○將旗移揚

佐世保防備隊司令官ハ十二月一日將旗ヲ名取ヨリ佐世保防備隊ニ移揚セリ

○司令驅逐艦變更

第四十五驅逐隊司令ハ十一月二十八日司令驅逐艦ヲ朝風ヨリ松風ニ變更セリ

○第十九驅逐隊行動豫定

地 名 着 發  
吳 鎮 海 十二月十六日 十二月十五日

○郵便物發送先

第三航空戰隊司令部、特設水上機母艦香久丸、軍艦神威、能登呂宛 各所屬軍港

自 今

第五砲艦隊司令、隊機關長、主計長宛 第七大源丸(佐世保郵便局氣付)

第十五驅逐隊宛

自 今

吳

第十九驅逐隊宛

十二月十四日迄ニ到達見込ノモノハ 共ノ後ハ 吳 鎮 海

○殘務整理

第一砲艦隊及砲艦長壽山丸殘務整理ハ十一月三十日吳防備隊内ニ於テ開始セリ

○郵便物宛先變更

厦門根據地隊福島部隊宛ヲ杉野部隊宛ニ變更

1231

○艦船所在

▲印ハ「ハカ」  
指定ヲ要セズ

○十二月五日午前十時調

【横須賀】

對馬、夕張、鳳翔▲五十鈴▲山城、春日▲  
長門▲、口陸奥、口那珂、口鳥海▲、摩耶、

▲蒼龍、木曾、赤城、利根

▲曉、漣、狹霧、▲天霧、朝霧、夕霧、

▲秋風、羽風▲、太刀風、夕風、沖風

伊二▲、伊四▲、伊五、伊七▲

掃五▲、掃六

富士▲、洲崎、鳴戸

(飛龍)▲(高崎)▲(劍崎)▲

【長浦】夏雲、朝雲、峯雲、神風、口響、雷、電、

山雲

呂五四、呂五五、呂五六、呂五八、伊一、

伊三、伊六、伊一二三、伊一二四

掃二

【石川島】

(掃一○)▲

【浦賀】

北上▲ (霞)▲(不知火)▲(掃八)▲

【館山】

澤風▲

【大湊】

波風

【函館】

大泊

【吳】

矢矧、韓崎、比叡▲、淀、淺間、扶桑▲、古鷹▲

加古▲、大井、最上、日向、伊勢▲、鬼怒、  
夕顔、▲熊野、鈴谷、三隈、▲神通、龍驤、  
早苗、▲初雪、白雪、吹雪、▲浦波▲、綾波、  
▲矢風、▲東雲、白雲、薄雲、叢雲、▲朝風

呂五一、呂五三、呂二六▲、呂二七▲

呂二八▲、呂三四、呂三三、伊五一▲

伊五三▲、伊五五、伊五七、伊五六、

伊五八、伊七二、伊七三、伊七一、

伊六六▲、伊六五、伊六七、伊七四、

伊一一一、伊一二二、伊七〇、伊六八

雁

攝津、間宮、石廊

(千代田)(伊一六)▲

【大阪】

(黒潮)▲

【神戸】

伊五四▲、呂五七▲、呂五九▲

【相生】

(瑞穂)▲(伊八)▲(伊七五)▲

【玉】

(掃七)▲

【因ノ島】

▲旗風、松風▲、春風▲

【江田内】

平戸▲

【徳山】

襟裳

【舞鶴】

吾妻▲、高雄▲、長鯨▲、愛宕▲  
敷波▲、磯波▲、帆風

海軍公報(部内限) 第三千七十八號 昭和十三年十二月五日 一四二七

【佐世保】

(蔽)▲(陽炎)▲(親潮)▲(掃九)▲  
榛名、那智▲、常磐▲、名取、青葉、衣笠、  
霧島▲、金剛▲、由良、▽阿武隈、千歳▲  
梨▲、竹▲、榎▲、桃▲、柳▲、檜▲、董▲、▽水無月、  
長月、▽若葉▲、初霜▲、子日▲、初春▲、  
▽夕風▲、朝風▲、▽朝潮▲、大潮、滿潮、荒潮、  
峯風、▽如月、卯月、彌生、夕月▲、▽野風、  
文月

呂三〇▲、呂三一▲、呂三二▲、呂六〇▲、  
呂六一▲、呂六二▲、呂六四、▽呂六六、  
呂六五▲、呂六七、▽呂六八、呂六三、  
▽伊六三、伊五九、伊六〇、▽伊六四、  
伊六一、伊六二、伊六九

【長崎】

敷島▲、鶴見、野島、室戸  
(明石)▲(伊一八)▲  
羽黒▲  
佐多▲  
(筑摩)▲

【鎮海】

▽葦、柿  
【維津】  
榆

【作業地】▽出雲、▽安宅、鳥羽、勢多、堅田、比良、  
保津、熱海、二見、殿島、八重山、白鷹、  
▽川内、▽足柄、沖島、▽球磨、▽妙高、多摩、  
▽天龍、龍田、▽長良、▽加賀、神威、能登呂、  
勝力、迅鯨、▽嵯峨、▽磐手、八雲、駒橋

【航海中】

尻矢 (十一月二十三日羅府發)「ホノルル」へ

栗、梅、蓮、▽夕立、村雨、春雨、五月雨、  
▽白露、有明、夕暮、時雨、▽江風、海風、  
涼風、山風、▽芙蓉、朝顔、刈萱、▽菊月、  
睦月、望月、三月月、▽追風、疾風、▽蓼、  
蓬、菱、▽島風、汐風、灘風、皐月、▽臘、  
曙、潮、沼風  
▽隼、鵠、鴨、鴻、▽千鳥、初雁、友鶴、  
真鶴、▽鳩、鷺、雉  
▽掃一、掃三、掃四、▽掃一六、掃一三、  
掃一四、掃一五、掃一七、掃一八  
▽朝日、膠州、隱戸、知床

1233

# 海軍公報

(部内限) 第三千七十九號

海軍大臣官房

昭和十三年十二月六日(火)

## ○令 達

官房第六〇八六號

昭和十二年官房第四四九六號中左ノ通改正ス

第六海軍軍用郵便所ノ事務開始ハ追テ之ヲ定ム

昭和十三年十二月五日

海軍大臣

表中第二海軍軍用郵便所ノ欄「所員專任八人判任、專任二人雇員、專任十五人傭人」ヲ「所員專任五人判任、專任二人雇員、專任十人傭人」ニ改メ、第五海軍軍用郵便所ノ次ニ左ノ通加フ

名稱	第六海軍軍用郵便所
設置所	第三艦隊ノ一艦
所管	佐世保鎮守府
所屬	第三艦隊

## 職員

所長	一人
專任	六人
專任	二人
雇員	十人
判任	五人
傭人	十人
加任	一人

(參照) 昭和十二年官房第四四九六號ハ海軍軍用郵便所設置ノ件ナリ(昭和十二年九月一日公報)

官房機密第六五一號

昭和十三年十二月六日

海軍大臣

各鎮守府司令長官  
舞鶴要港部司令官

兼  
消耗兵器年額ニ關スル件訓令

昭和十三年内令兵第三十四號小掃海具競技用消耗兵器年額、爆破鈎完備ノモノニ對シテハ昭和十四年度限り掃海藥罐完備ノモノヲ代給セシムベシ

## ○通牒

航本機密第九三九五號

昭和十三年十月二十五日航本機密第七九〇六號中「航

(限 内 部)

海軍公報(部内限) 第三千七十九號

昭和十三年十二月六日

一四二九

1234



海軍機關大佐	寺岡 謹平	同	海軍造兵大佐	齋尼 慶勝
北野 綱雄	同	特別俸ヲ賜フ	同	稻田 虎彦
小野 胖	同	海軍艦政本部造船監督官兼造兵監督官 海軍航空本部造兵監督官海軍大佐	日臺 虎治	
大野 董	同	(各通)同	樋口 通達	
赤坂 卯之助	同	大阪監理官ヲ命ス	酒井 一雄	
小畑 愛喜	同	同	後藤 鐵五郎	
岩本 鼎	同	名古屋監理官ヲ命ス	宮本 定知	
別府 良三	同	同	赤坂 卯之助	
平田 周二	同	(各通)	池澤 英男	
和住 篤太郎	同	海軍艦政本部造船監督官兼 造兵監督官海軍機關大佐		
原 隼人	同	兵監督官海軍機關大佐		
堀田 慎之	同	海軍艦政本部造船監督官兼 會計官兼海軍航空本部造兵監督官 監督會計官海軍主計大佐		
小林 賢語	同	東京監理官ヲ命ス		
竹雅 進平	同	(各通) 海軍技術會議員海軍少佐	櫻 義雄	
神林 美治	同	海軍技術會議員	中村 倍郎	
福井 信立	同	海軍機關大佐		
荒川 信	同	海軍技術會議員	野村 元次	
吉村 武雄	同	海軍技術會議員		
桑原 憲	同	海軍技術會議員		
佐野 嘉末	同	海軍技術會議員		
紺野 逸彌	同	海軍技術會議員		
渡邊 武夫	同	海軍技術會議員		

1236

海軍航空本部技術會議議員ヲ命ス(以上ハ同)

海軍中佐 細谷 資彦

第二課勤務ヲ命ス(以上ハ海軍省人事局)

海軍大佐 入船直三郎(艦本)

海軍大尉 大西 勇治(四驅潜)

(各通) 海軍機關中佐 松本 正彦(艦本)

海軍技師 高垣 熊市(艦本監)

同 石橋 福次(同)

同 村井 藏吉(同)

第四號驅潛艇審議委員ヲ命ス

海軍大佐 入船直三郎(艦本)

海軍少佐 井上 憲一(軍令)

同 山田 盛重(軍務)

同 氏家 忠三(測天)

(各通) 海軍機關大佐 島田 藤治郎(艦本)

海軍機關少佐 石原 昌(同)

海軍造船中佐 塩山 策一(同)

海軍技師 濱田 善治(艦本監)

同 梅谷 重三郎(同)

同 關 甚作(同)

敷設艇測天審議委員ヲ命ス(以上ハ海軍艦政本部)

○ 雜 款

司令驅逐艦變更  
第二十五驅逐隊司令ハ十二月三日司令驅逐艦ヲ大潮ヨ  
リ朝潮ニ變更セリ

○郵便物發送先  
軍艦神威宛  
自今  
横須賀

○練習生採用試験問題發送  
第五十九期高等科機關術  
第六十七期普通科電氣術  
第六十八期普通科電氣術  
右十二月二日左記ノ通發送濟、未着ノ向又ハ別ニ必要  
ノ向ニ至急御通知相成度  
記

一、單獨試驗施行豫定ノ各部ニハ直送セリ  
一、聯合試驗用ノモノハ各海軍人事部首席部員及各要  
港部副官宛送付  
但シ旅順要港部所屬艦船ニハ直送  
一、聯合試驗參加豫定ノ艦船ニシテ行動豫定變更ノ爲  
聯合試驗參加不能ノ向ニ對スル分トシテ單獨試験  
問題若干部送付シ置ケリ  
(海軍工機學校)

1237

○ 艦船所在

▲印ハハホ  
指定ヲ要セズ

○十二月六日午前十時調

【横須賀】

對馬、夕張、風翔▲五十鈴▲山城、春日▲  
長門▲、陸奥、那珂、鳥海▲、摩耶、

蒼龍、木曾、赤城、利根

曉、漣、狹霧、天霧、朝霧、夕霧、

秋風▲、羽風▲、太刀風、夕風、沖風

伊二▲、伊一、伊四▲、伊五、伊七▲

掃五▲、掃六

富士▲、洲崎、鳴戸

(飛龍)▲(高崎)▲(劍崎)▲

【長浦】夏雲、朝雲、峯雲、神風、響、雷、電、

山雲

呂五四、呂五五、呂五六、呂五八、

伊三、伊六、伊一二三、伊一二四

掃二

【石川島】(掃一○)▲

浦賀▲

(霞)▲(不知火)▲(掃八)▲

館山▲

大湊▲

函館▲

吳▲

矢矧、韓崎、比叡▲、淀、淺間、扶桑▲、古鷹▲

加古▲、大井、最上、日向、伊勢▲、鬼怒、

大鯨、熊野、鈴谷、三隈、神通、龍驤、

夕顔、菊、葵、萩、薄、藤、葛、若竹、

早苗、初雪、白雪、吹雪、浦波▲、綾波、

矢風、東雲、白雲、薄雲、叢雲、朝風

呂五一、呂五三、呂二六▲、呂二七▲

呂二八▲、呂三四、呂三三、伊五一▲

伊五三▲、伊五五、伊五七、伊五六、

伊五八、伊七二、伊七三、伊七一、

伊六六▲、伊六五▲、伊六七、伊七四、

伊一二一、伊一二二、伊七〇、伊六八

攝津、間宮、石廊

(千代田)(伊一六)▲

【大阪】(黒潮)▲

【神戸】伊五四▲、呂五七▲、呂五九▲、伊八

(瑞穂)▲(伊七五)▲

【相生】早鞆▲

【玉】(掃七)▲

【因ノ島】旗風、春風▲、松風▲

【江田内】平戸▲

【舞鶴】吾妻▲、高雄▲、長鯨▲、愛宕▲

敷波▲、磯波▲、帆風

伊五二▲ (霞)▲(陽炎)▲(親潮)▲(掃九)▲

海軍公報(部内限)第三千七十九號

昭和十三年十二月六日

一四三三

1238

【佐世保】

榛名、那智、常磐、名取、青葉、衣笠、霧島、金剛、由良、阿武隈、千歳、能登呂

梨、竹、榧、桃、柳、檜、葦、水無月、長月、若葉、初霜、子日、初春、夕風、朝風、朝潮、大潮、滿潮、荒潮、峯風、如月、卯月、彌生、夕月、野風、文月

呂三〇、呂三一、呂三二、呂六〇、呂六一、呂六二、呂六四、呂六六、呂六五、呂六七、呂六八、呂六三、伊六三、伊五九、伊六〇、伊六四、伊六一、伊六二、伊六九

敷島、鶴見、野島

(明石)(伊一八)

羽黒、佐多

(筑摩)

【鎮海】葦、柿

【羅津】楡

【作業地】出雲、安宅、鳥羽、勢多、堅田、比良、保津、熱海、二見、嚴島、八重山、白鷹、川内、足柄、沖島、球磨、妙高、多摩、天龍、龍田、長良、加賀、神威、勝力、込鯨、嵯峨、磐手、八雲、駒橋

【長崎】

【航海中】

栗、梅、蓮、夕立、村雨、春雨、五月雨、白露、有明、夕暮、時雨、江風、海風、涼風、山風、芙蓉、朝顔、刈萱、菊月、睦月、望月、三月月、追風、疾風、蓬、菱、島風、沙風、灘風、草月、臘、潮、沼風

隼、鵠、鴨、鴻、千鳥、初雁、友鶴、真鶴、鳩、鷺、雉

掃一、掃三、掃四、掃一六、掃一三、掃一四、掃一五、掃一七、掃一八

朝日、膠州、隱戶、知床

尻矢 (十一月二十三日羅府發「ホノルル」)

襟裳 (五日徳山發「横須賀」)

室戸 (五日佐世保發「鎮海」)

(限 内 部)

海軍公報 (部内限) 第三千八十號

海軍大臣官房

昭和十三年十二月七日(木)

○ 辭 令

(各通) 海軍大佐 石戸 勇三  
海軍造兵大佐 杉山 金作

特別俸ヲ賜フ

海軍航空本部造兵盛  
督官海軍機關中佐 田尻 福男

大阪監理官兼神戸監理官ヲ命ス  
海軍艦政本部造兵盛  
督官海軍造兵中佐 一戸 文雄

長崎監理官ヲ命ス(以上<sup>五十二</sup>海軍省)  
海軍主計兵曹長 増 永 茂

艦隊經費分任出納官吏ヲ免ス(以上<sup>五十三</sup>支出官海軍省經理  
局長)

軍令部出仕海軍少將 山口 多聞  
主トシテ兼務應ニ於テ服務スベシ

同 海軍大佐 溪口 豪介  
滿洲國在勤帝國大使館附武官ノ命ヲ承ケ服務スベシ  
同 海軍中佐 山口 捨次

第三部第七課勤務ヲ命ス

軍令部部員同 川井 巖

第一部第一課勤務ヲ命ス

軍令部出仕同 北川 金光

第四部第十課勤務ヲ命ス

同 海軍少佐 白濱 榮一

第一部第一課勤務ヲ命ス

同 土師 喜太郎

第三部第八課勤務ヲ命ス

軍令部出仕兼部員海軍少佐 櫻 義雄

第四部第九課兼第二部第三課同第四課勤務ヲ命ス

軍令部出仕同 侯爵 華頂 博信

第三部勤務ヲ命ス

軍令部部員海軍少佐 三品 伊織

第四部第九課兼第一部第一課、同第二課勤務ヲ命ス

(以上<sup>五十四</sup>軍令部) 海軍中佐 川井 巖

海軍公報(部内限) 第三千八十號 昭和十三年十二月七日

一四三五

1240

參謀部第一部第一課勤務ヲ命ス

報道部第一課勤務ヲ命ス

通信部第十課勤務ヲ命ス

參謀部第三部第八課勤務ヲ命ス

通信部第九課兼同第十二課勤務ヲ命ス

參謀部第三部勤務ヲ命ス

通信部第十二課兼務ヲ免シ參謀部第一部第一課兼務ヲ命ス

(各通)

海軍中尉 岩井五郎作  
同 野村盛弘  
同 梅津修  
同 西勉

通信部第十課勤務ヲ命ス(以上三員大本營海軍部)

○ 雜 款

○司令驅逐艦一時變更

第二十七驅逐隊司令ハ十二月五日司令驅逐艦ヲ一時菱ヨリ蓬ニ變更セリ

○特務艦石廊行動豫定變更(十一月二十日本欄參照)

地名	着	發
吳		十二月八日
德山	十二月八日	十二月八日
佐保	十一月十一日	十一月十日
德山	十一月十六日	十一月十五日
佐保	十一月十九日	十一月十八日
德山	十一月二十二日	十一月二十一日
吳	十一月二十四日	十一月二十四日

○郵便物發送先變更

第一聯合航空隊司令部宛

自今

千葉縣君津郡

木更津海軍航空隊

第二水雷戰隊司令部宛

十二月十一日迄ニ到達見込ノモノハ

其ノ後ハ

吳 軍艦神通  
横須賀 軍艦那珂

木更津海軍航空隊宛

自今

千葉縣君津郡木更津町

<p>軍艦多摩宛 十二月十六日迄ニ到達見込ノモノハ 高 雄 其ノ後ハ 横須賀郵便局留置</p>	<p>軍艦八重山宛 十二月十二日迄ニ上海到達見込ノモノハ 其ノ後ハ 佐世保郵便局留置</p>	<p>軍艦白鷹宛 十二月十日以後 吳</p>	<p>驅逐艦島風宛 十二月十日迄ニ到達見込ノモノハ 其ノ後ハ 佐世保郵便局留置 横須賀郵便局留置</p>	<p>第二十一潜水隊宛 十二月八日迄ニ到達見込ノモノハ 吳 其ノ後ハ 佐世保</p>	<p>第八號驅潜艇宛 自今 横須賀防備隊内</p>	<p>特務艦石廊宛 十二月九日迄ニ到達見込ノモノハ 德 山 同 十四日迄ニ同 佐世保</p>	<p>同 十七日迄ニ 同 同 二十日迄ニ 同 同 二十三日迄ニ 同 其ノ後ハ 吳 德 山 佐世保</p>	<p>○艦裝具事務所撤去 第八號驅潜艇艦裝具事務所ハ十一月三十日撤去セリ</p> <p>○殘務整理 第八號驅潜艇艦裝具係ル殘務整理ハ自今第八號驅潜艇ニ於テ行フ</p>	<p>○專攻科學生入校期日 來十二月十五日任命セラレベキ本校第二十三期專攻科學生ハ十二月二十二日始業ニ付其ノ前日迄ニ入校セシメラレ度 (海軍工機學校)</p>	<p>○正誤 十一月二十五日通牒欄軍需機密燃第二五七號左記(五)中「留意ヲ製ス」ハ「留意ヲ要ス」ノ、(六)中「場合ヲ」ハ「場合ニハ」ノ、同軍需機密燃第二五七號ノ二左記中末行「艦營需品」ハ「艦營需品燃料」ノ、同軍需機密燃第二五九號左記一、中「告達替ハ爲サザルモ」ハ「告達替ハ爲サレザルモ」ノ孰モ誤</p>
---	--	----------------------------	--	--	-------------------------------	--	--	---	---	---

海軍公報(部内限)第三千八十號 昭和十三年十二月七日

一四三七

○艦船所在 ▲印ハハホニノ  
指定ヲ要セズ

○十二月七日午前十時調

【横須賀】

對馬、夕張、風翔▲、五十鈴▲、山城、春日▲、長門▲、陸奥、那珂、鳥海▲、摩耶、蒼龍、木曾、赤城、利根

▽曉、漣、狹霧、天霧、朝霧、夕霧、

秋風▲、羽風▲、太刀風、夕風、沖風

伊二▲、伊一、伊四▲、伊五、伊七▲

富士▲、洲崎、鳴戸

(飛龍)▲(高崎)▲(劍埼)▲

【長浦】夏雲、朝雲、峯雲、神風、響、雷、電、山雲

呂五四、呂五五、呂五六、呂五八、

伊三、伊六、伊一二三、伊一二四

【石川島】(掃一○)▲

【浦賀】北上▲

(霞)▲(不知火)▲(掃八)▲

【館山】澤風▲

【大湊】波風

大泊

【函館】吳竹▲

矢矧、韓崎、比叡、淀、淺間、扶桑▲、古鷹▲、

加古▲、大井、最上、日向、伊勢▲、鬼怒、

▽大鯨、熊野、鈴谷、三隈、神通、龍驤

夕顔、口菊、葵、萩、薄、藤、葛、若竹、

早苗、初雪、白雪、吹雪、浦波▲、綾波、

▽矢風、東雲、白雲、薄雲、叢雲、朝風

呂五一、呂五三、呂二六▲、呂二七▲、

呂二八▲、呂三四、呂三三、伊五一▲、

伊五三▲、伊五五、伊五七、伊五六、

伊五八、伊七二、伊七三、伊七一、

伊六六▲、伊六五▲、伊六七、伊七四、

伊一二一、伊一二二、伊七〇、伊六八

雁

攝津、間宮、石廊

(伊一六)▲

【大阪】(黒潮)▲

【神戸】伊五四▲、呂五七▲、呂五九▲

【宮津】

帆風

(霞)▲(陽炎)▲(親潮)▲(掃九)▲

伊五二▲

敷波▲、磯波▲

吾妻▲、高雄▲、長鯨▲、愛宕▲

【別府】(千代田)

【江田内】平戸▲

【因ノ島】旗風、春風▲、松風▲

【玉】(掃七)▲

【相生】早鞆▲

(瑞穂)▲(伊七五)▲

海軍公報(部内限) 第三千八十號 昭和十三年十二月七日

一四三九

【佐世保】

榛名、那智、常磐、名取、青葉、衣笠、  
霧島、金剛、由良、阿武隈、千歳、  
能登呂

梨、竹、榎、桃、柳、檜、萱、水無月、  
長月、若葉、初霜、子日、初春、

夕風、朝風、朝潮、大潮、滿潮、荒潮、  
峯風、如月、卯月、彌生、夕月、文月、

呂三〇、呂三一、呂三二、呂六〇、  
呂六一、呂六二、呂六四、呂六六、

呂六五、呂六七、呂六八、呂六三、  
伊六三、伊五九、伊六〇、伊六四、  
伊六一、伊六二、伊六九

敷島、鶴見  
(明石)(伊一八)

【長崎】  
羽黒、佐多

【鎮海】  
葦、柿、室戸

【羅津】  
檜、尻矢

【ホノルル】  
出雲、安宅、鳥羽、勢多、堅田、比良、  
保津、熱海、二見、嚴島、八重山、白鷹、  
川内、足柄、沖島、球磨、妙高、多摩、  
天龍、龍田、長良、加賀、神威

【航海中】  
襟裳(五日徳山發—横須賀—)  
野風(六日佐世保發—那霸—)  
伊八(六日神戸發—吳—)

勝力、迅鯨、鱧峨、磐手、八雲、駒橋、  
栗、梅、蓮、夕立、村雨、春雨、五月雨、  
白露、有明、夕暮、時雨、江風、海風、  
涼風、山風、芙蓉、朝顔、刈萱、菊月、  
睦月、望月、三月月、追風、疾風、蓬、  
蓼、菱、島風、沙風、灘風、皐月、臘、  
曙、潮、沼風

隼、鶴、鴨、鴻、千鳥、初雁、友鶴、  
翼鶴、鳩、鷺、雉

掃一、掃二、掃三、掃四、掃五、掃六、  
掃一六、掃一三、掃一四、掃一五、掃一七、  
掃一八

朝日、膠州、隱戸、知床、野島

1244

# 海軍公報 (部内限) 號外

## ○ 通牒

教育第四八四號

昭和十三年十二月五日

海軍省教育局長

海軍諸例  
則登載

各鎮守府參謀長  
關係各航空隊長  
關係各航空司令  
關係各海軍病院長

學術獎勵賞授與ニ關スル件申進

昭和十三年十一月十九日官房第五七七六號ヲ以テ飛行豫科練習生、各種普通科練習生及特修科軍樂術練習生ノ優等卒業者ヲ褒賞スルノ件決裁相成候ニ就テハ左記學術獎勵賞授與内規ニ依リ之ガ實施方御取計ヒ相成度

記

學術獎勵賞授與内規

第一條 本内規ハ飛行豫科練習生、各種普通科練習生

海軍公報 (部内限) 號外

昭和十三年十二月七日 (水)

海軍大臣官房

並ニ特修科軍樂術練習生ノ卒業ニ當リ其ノ成績優等ナル者ヲ褒賞シ當該學術技藝ノ進歩發達ヲ助成スル爲ニ準據スベキ事項ヲ規定ス

第二條 褒賞ノ區分ハ左記ニ依ル

褒賞スベキ練習生	褒賞者	褒賞種別	事記
甲種飛行練習生	當該練習航空隊ノ司令	航空術獎勵賞	
乙種飛行練習生	當該練習航空隊ノ司令	山階宮航空術獎勵賞	
豫科練習生	當該練習航空隊ノ司令	航空術獎勵賞	
普通科練習生	海軍砲術學校長	砲術獎勵賞	
普通科練習生	海軍砲術學校長	砲術獎勵賞	
測的術練習生	海軍砲術學校長	砲術獎勵賞	
普通科水雷術練習生	海軍水雷學校長	水雷術獎勵賞	
魚雷練習生	海軍水雷學校長	水雷術獎勵賞	
普通科水雷術練習生	海軍水雷學校長	水雷術獎勵賞	
航空魚雷練習生	海軍水雷學校長	水雷術獎勵賞	



及普通科工作術練習生ニアリテハ左記専修別ニ區分シタル卒業者員數ニ就キ第一號ノ標準ヲ適用ス

普 工	普 機			普 空 兵		練 習 生 別 專 修 別 記 事
	木 工	金 工	内 火	罐 機	寫 眞	

第四條 賞品ハ海軍省教育局長之ヲ撰定スルモノトシ、當分ノ間左記ノ通リトス（各賞品共之ニ褒賞種別名ヲ彫刻スルモノトス）

山 塔 宮 航空術獎勵賞	精工舍製銀側一七型「ライト」	賞 品
	十五石入懷中時計	

海軍公報（部内限）號外

右以外

精工舍製「クロム」側一六型「エムバイヤ」十石入懷中時計

第五條 關係各所轄長ハ第三條標準ニ依リ受賞者員數ヲ豫定シ其ノ卒業豫定期日ノ一ヶ月前述ニ之ヲ海軍省教育局局長ニ通知スルモノトス  
第六條 海軍省教育局長ハ賞品ヲ準備シ練習生卒業豫定期日ノ一週間前述ニ之ヲ當該關係所轄長ニ交付ス  
第七條 關係所轄長本内規ニ依ル褒賞ヲ行ヒタル時ハ其ノ都度之ヲ海軍省教育局長ニ通報スルモノトス

1247

昭和十三年十一月十九日官房第五七七六號決裁

學術獎勵賞授與ニ關スル件仰裁

飛行豫科練習生各種普通科練習生並ニ特修科軍樂術練習生ノ卒業ニ當リ其ノ成績優秀ナル者ヲ褒賞シ以テ當

一、褒賞區分

記

海軍諸例  
則登載

該學術技藝修得ノ進步發達ヲ助成センガタメ左記ニ依  
リ學術獎勵賞ヲ授與スル事ニ取計ヒ可然哉

褒賞スベキ練習生	褒賞者	褒賞種別	褒賞標準
甲種飛行豫科練習生	當該練習航空隊司令	航空術獎勵賞	一、各種練習生（乙種飛行豫科練習生、普通科航空兵器術練習生、普通科機關術練習生及普通科工作術練習生ヲ除ク）每期卒業者一五〇名以下ノ場合ハ其ノ最優等者一名ヲ褒賞ス
乙種飛行豫科練習生		山階宮航空術獎勵賞	
普通科航空兵器術練習生	海軍砲術學校長	航空術獎勵賞	二、每期卒業者一五〇名ヲ超ユル場合ハ其ノ超過員數一〇〇名又ハ其ノ未滿員數ヲ増ス毎ニ受賞者一名宛ヲ加フル如ク受賞者員數ヲ定ム
普通科整備術練習生		砲術獎勵賞	
普通科砲術練習生	海軍水雷學校長	砲術獎勵賞	三、乙種飛行豫科練習生ニアリテハ每期卒業者員數一〇〇名以内ノ場合ハ其ノ最優等者二名ヲ卒業
普通科測的術練習生		水雷術獎勵賞	
普通科水雷術航空魚雷練習生	海軍航海學校長	水雷術獎勵賞	ハ每期卒業者員數一〇〇名以内ノ場合ハ其ノ最優等者二名ヲ卒業
普通科水雷術機雷練習生		航海運用術獎勵賞	
普通科運用術操舵練習生			

右	以	外	精工舎製「クローム」側一六型「エムバイヤ」十石入懐中時計	賞	山階宮航空術獎勵賞 精工舎製銀側一七型「ライト」十五石入懐中時計	賞別	普通科運用術應急練習生	普通科信號術練習生	普通科電信術練習生	普通科機關術練習生	普通科電氣術練習生	普通科工作術練習生	普通科看護術練習生	普通科經理術練習生	普通科衣糧術練習生	特修科軍樂術練習生	二、賞品 賞品ハ海軍省教育局長之ヲ撰定スルモノトシ當分ノ間左記ノ通リトス (各賞品共之ニ褒賞種別名ヲ彫刻スルモノトス)
							當該海兵團長	海軍通信學校長	海軍工機學校長	當該海軍病院長	海軍經理學校長	橫須賀海兵團長	信號術獎勵賞	電信術獎勵賞	機關術獎勵賞	電氣術獎勵賞	
<p>業者員數一〇〇名ヲ超ユル場合ハ三名ヲ褒賞ス          四、普通科航空兵器術練習生、普通科機關術練習生及普通科工作術練習生ニアリテハ左記選修別ニ區分シタル卒業業者員數ニ就キ第一號及第二號ノ標準ヲ適用ス</p>																	
普		普		普		練		普		普		普		普		普	
工		機		空		習		兵		工		機		機		機	
木		金		寫		專		雷		射		機		機		機	
工		火		眞		修		爆		爆		機		機		機	
工		火		眞		別		兵		兵		械		械		械	
工		火		眞		別		器		器		械		械		械	

三、賞品費

(一) 山階宮航空術獎勵賞ニ對スル分  
 昭和十年教育第二五號山階宮航空術獎勵金使途内規ニ依ル  
 (二) 右以外ノ分  
 曩ニ仰裁ニ依リ各種學術獎勵金トシテ使用シ來レル左記資金ニ上海事變並ニ今次事變中受ケタル學術技藝  
 獎勵寄附金四萬圓也ヲ加ヘタル資金ヲ本仰裁ニ依ル學術獎勵金トシ其ノ年利金ヲ以テ之ニ充ツ

資	金	名	元	金	仰	裁	年	月	日	記	事	
砲術獎勵金	四、〇〇〇圓				大正	三	年	四	月	十七日	明治三十九年元海軍陸戰隊代表黒井悌次郎寄附	
通信術獎勵金	一〇、〇〇〇圓				大正	十	年	三	月	十日	尼港海軍殉職者記念碑建設發起人代表佐藤鐵太郎寄附	
機關電氣術工術經理術掌厨術獎勵金	一、四八〇圓				大正	十	三	年	三	月	十二日	中川秩骨及田邊伴助寄附
水雷術獎勵金	八、〇〇〇圓				昭和	三	年	十	月	十一日	三菱造船株式會社寄附	
潛航術獎勵金	二、〇〇〇圓				昭和	五	年	五	月	十七日	鈴木巖及松永吉茂寄附、昭和十年六月以降支出セズ	
航空術獎勵金	一、〇〇〇圓				大正	十	三	年	八	月	十六日	故海軍大尉速水克己遺族寄附
運用航海術獎勵金	一、〇〇〇圓				大正	十	三	年	三	月	十三日	故海軍中將山内四郎遺族寄附
	一、五〇〇圓				昭和	八	年	三	月	二十九日	故海軍中尉清水貞郎遺族寄附	
看護術獎勵金	三、〇〇〇圓				昭和	九	年	六	月	二十八日	武田長兵衛寄附	

計 三一、九八〇回

四、其他

其他ノ細目ハ海軍省教育局長之ヲ定ムルモノトス

海軍公報 (部内限) 號外

七

1251

(限 内 部)

# 海軍公報 (部内限) 第三千八十一號

昭和十三年十二月八日(木)  
海軍大臣官房

## ○ 辭 令

森 (各通)

通信書記 塚本 英一  
通信書記補 鈴木 其治

同 戸伏 長夫

第二海軍軍用郵便所員ヲ免シ第六海軍軍用郵便所員  
ヲ命ス

集配手 笠原 鶴吉

同 伊奈 一郎

同 川島 久八

同 島崎 一

同 津田 國雄

(各通)

第二海軍軍用郵便所員ヲ免シ第六海軍軍用郵便所員  
ヲ命ス

但シ身分ノ取扱ハ傭人トス(以上<sup>陸海軍省</sup>)

海軍主計少尉 高松 信夫

上海海軍特別陸戰隊ヨリ南京方面ニ派遣セラレタル

部隊ニ要スル經費支拂ノ爲支那方面艦隊經費分任出  
納官吏ヲ命ス

海軍主計中尉 森 榮章

右同分任出納官吏ヲ免ス(以上<sup>陸海軍省</sup>支出官海軍省經  
理局長)

軍令部出仕海軍少佐 岡 巖

第三部勤務ヲ命ス(以上<sup>陸海軍省</sup>軍令部)

## ○ 雜 款

○司令驅逐艦一時變更

第四十一驅逐隊司令ハ十二月五日司令驅逐艦ヲ一時夏  
雲ヨリ峯雲ニ變更、同日復歸セリ

○殘務整理

駐滿海軍部殘務整理ハ新京日本海軍武官府ニ於テ行フ

○懲罰

懲罰言渡書

海軍公報(部内限) 第三千八十一號 昭和十三年十二月八日

一四四一

1252

海軍公報(部内限) 第三千八十一號 昭和十三年十二月八日

一四四二

1253

○艦船所在

▲印ハハホシノ  
指定ヲ要セズ

○十二月八日午前十時調

【横須賀】

對馬、夕張、鳳翔▲五十鈴▲山城、春日▲  
長門▲、陸奥、那珂、鳥海▲、摩耶、

蒼龍、木曾、赤城、利根

夕曉、漣、狹霧、天霧、朝霧、夕霧、

秋風▲、羽風▲、太刀風、夕風、沖風

伊二▲、伊一、伊四▲、伊五、伊七▲

富士▲、洲崎、鳴戸、襟裳

(飛龍)▲、(高崎)▲、(劍崎)▲

【長浦】夏雲、朝雲、峯雲、神風、巨響、雷、電、

山雲

呂五四、呂五五、呂五六、呂五八、

伊三、伊六、伊一二三、伊一二四

【石川島】

(掃一〇)▲

北上▲ (霞)▲、(不知火)▲、(掃八)▲

【館山】

澤風▲

【大湊】

波風

【函館】

大泊

【吳】

矢矧、韓崎、比叡▲、淀、淺間、扶桑▲、古鷹▲、  
加古▲、大井、最上、日向、伊勢▲、鬼怒、  
大鯨、熊野、鈴谷、三隈、神通、龍驤▲

夕顔、巨菊、葵、萩、巨薄、藤、葛、若竹、  
早苗、巨初雪、白雪、吹雪、巨浦波▲、綾波、

矢風、巨東雲、白雲、薄雲、叢雲、朝風

呂五一、呂五三、呂二六▲、呂二七▲、

呂二八▲、呂三四、呂三三、伊五一▲、

伊五三▲、伊五五、伊五七、伊五六、

伊五八、伊七二、伊七三、伊七一、

伊六六▲、伊六五▲、伊六七、伊七四、

伊一二一、伊一二二、伊七〇、伊六八、

伊八

雁

攝津、間宮、石廊

(伊一六)▲

【大阪】

(黒潮)▲

【神戸】

伊五四▲、呂五七▲、呂五九▲

【相生】

(瑞穂)▲、(伊七五)▲

【相模】

早鞆▲

【玉】

(掃七)▲

【因ノ島】

巨旗風、春風▲、巨松風▲

【江田内】

平戸▲

【別府】

(千代田)

【舞鶴】

吾妻▲、高雄▲、長鯨▲、愛宕▲

敷波▲、磯波▲、帆風

伊五二▲

(叢)▲、(陽炎)▲、(親潮)▲、(掃九)▲

【佐世保】

榛名、那智、常磐、名取、青葉、衣笠、  
能登呂

梨、竹、榧、桃、柳、檜、董、水無月、  
長月、若葉、初霜、子日、初春、  
夕風、朝風、朝潮、大潮、滿潮、荒潮、  
峯風、如月、卯月、彌生、夕月、文月、  
呂三〇、呂三一、呂三二、呂六〇、  
呂六一、呂六二、呂六四、呂六六、  
呂六五、呂六七、呂六八、呂六三、  
伊六三、伊五九、伊六〇、伊六四、  
伊六一、伊六二、伊六九

敷島、鶴見  
(明石)(伊一八)▲

【長崎】

羽黒▲  
佐多▲

【那覇】

野風  
葦、柿

【鎮海】

尻矢

【作業地】

出雲、安宅、鳥羽、勢多、堅田、比良、  
保津、熱海、二見、殿島、八重山、白鷹、  
川内、足柄、沖島、球磨、妙高、多摩、  
天龍、龍田、長良、加賀、神威、勝力、  
迅鯨、嵯峨、磐手、八雲、駒橋

【航海中】

檣(七日西水維發—鎮海—)  
室戸(七日鎮海發—舞鶴—)

栗、梅、蓮、夕立、村雨、春雨、五月雨、  
白露、有明、夕暮、時雨、江風、海風、  
涼風、山風、芙蓉、朝顔、刈萱、菊月、  
睦月、望月、三月月、追風、疾風、蓬、  
菱、島風、汐風、灘風、皐月、臘、  
曙、潮、沼風  
隼、鶴、鴨、鴻、千鳥、初雁、友鶴、  
真鶴、鳩、鷺、雉  
掃一、掃二、掃三、掃四、掃五、掃六、  
掃一六、掃一三、掃一四、掃一五、掃一七、  
掃一八  
朝日、膠州、隠戸、知床、野島

(限 内 部)

# 海軍公報

(部内限) 第三千八十二號

昭和十三年十二月九日(金)

海軍大臣官房

## ○ 令 達

官房機密第六五八〇號

左記ニ依リ海軍砲術學校特修科學生ヲ採用ス

昭和十三年十二月九日

海 軍 大 臣

記

- 一、特修科目 對空射撃術
- 二、採用員數 橫須賀 五、吳 四、佐世保 六
- 三、採用資格 掌砲兵又ハ掌測的兵出身タル兵科特務士官又ハ准士官ニシテ對空射撃術ヲ特修セシムルニ適スル者
- 四、入校時期 昭和十四年一月二十七日
- 五、修業期間 約三箇月半

## ○ 通 牒

- 官房第六一四七號  
昭和十三年十二月九日
- 海 軍 次 官
- 海軍諸例  
則登載
- 廢止
- 關係各所屬長官殿  
昭和十七年官房第四五八〇號  
ニテ本機密止
- 支那事變ニ關係セル海軍軍人軍屬以外ノ者ノ身上取扱ニ關スル件通牒
- 首題ノ件ニ關シ左記ノ通定メラレ候
- 記
- 一、海軍徵備船舶ノ乗組員、事變地ニ於テ海軍ノ要請ニ依リ又ハ自發的ニ海軍ノ戦闘ニ參加シ若ハ海軍ノ任務遂行上寄與スル所アリシ者及事變地ニ於テ海軍ノ勤務ニ服シタル人夫ハ別表第一ニ據リテ海軍軍屬トナスコトヲ得
  - 二、前項ニ依リ軍屬トナスモノハ本年官房第五九四五號海軍軍屬宣誓規則ニ依リ宣誓ヲ爲サシムベキ者ノ指定中改正ニ依リ宣誓ヲ爲サシムベキモノトス
  - 三、第一項ニ依リ海軍軍屬トナス者ハ其ノ階級ヲ勅任

海軍公報(部内限) 第三千八十二號

昭和十三年十二月九日

一四四五

1256

官待遇囑託、奏任官待遇囑託、判任官待遇囑託、雇員、傭人（職名ヲ附與セズ）五階級ニ分テ階級付與標準ヲ別表第二ノ通定ム

四、本規定ニ依リ軍屬トナスベキ者ハ人夫及特ニ定ムル者ヲ除キ總テ無報酬トス但シ戰病死者ハ昭和十二年官房第四四六六號ニ依リ取扱ヒ別表第二ニ據リ報酬額ヲ決定ス

五、本規定ニ依リ軍屬ト爲リタル人夫ニハ雇員傭人給與規則ヲ適用セズ

六、本規定ハ事變勃發當初ニ遡リテ適用スルコトヲ得（別表二葉添）

○ 辭 令

（各通） 海軍機關大佐 向坂 六郎

同 齋藤 秀彦

同 田尻 福男

在大阪監督長ノ命ヲ承ケ服務シ兼テ在神戸監督長ノ命ヲ承ケ服務スヘシ（以上 海軍航空本部）

○ 雜 款

○ 郵便物發送先  
第十三砲艦隊宛

十二月十五日以後 佐世保郵便局氣付日本海丸  
追テ十二月十四日以前ノ給與被服糧食關係書類ハ  
嚴島宛  
軍艦嚴島宛  
自 今

横 須 賀

○ 正 誤

本月二日令達欄官房「第二一六九號ノ二六」ハ「第二一六九號ノ二六」ノ、同三日經豫第三號ノ三一四、月日「十一月二日」ハ「十二月二日」ノ孰モ誤

(別表第一)

海軍軍屬トナスベ範圍

(昭和十三年十二月九日公報(部内限))

種別	勤務状況種別	軍屬トナスベキ範圍
徴備船舶 (現地徴備ノモノヲ含ム)	一、概ネ事變地ニ在リテ任務ニ従事セル船舶 二、事變地ト内地間ノ運輸任務ニ従事シ危険地域ノ通航ヲナセル船舶 三、事變地ト内地間ノ運輸任務ニ従事シ比較的安地域ノ行動ニ従事セル船舶 四、主トシテ事變地外ニアリテ任務ニ従事セル船舶	乗組員全部  同 右  職員タル船員全部並ニ其ノ他ノ乗組員ニシテ幹部タル者  職員タル乗組員全部
	一、危険地ニアリテ勤務セル者 (中支、南支)	全 部
	二、比較的安地域ニアリテ勤務セル者 (青島方面)	人夫ノ頭、監督等幹部ノミニ限ル
	一、危険地ニ於テ勤務セル者 二、比較的安地域ニアリテ勤務セル者	全 部
事變地ニ於テ海軍ノ要請ニ依リ又ハ自發的ニ海軍ノ戦闘ニ參加シ若ハ海軍ノ任務遂行ニ盡力セル部外者	特ニ功績アリト認ムル者	特ニ功績アリト認ムル者

(別表第二)

階級付與並ニ報酬額決定標準

種別	徵		備		船		夫
	三〇〇以上噸	一〇〇以上噸	三〇〇以上噸	一〇〇以上噸	五〇〇以上噸	一〇〇〇以上噸	
勅任官	待遇	勅任官	待遇	勅任官	待遇	勅任官	勅任官タルノ 經歷ヲ有スル 者及民間會社 ノ重要職員、 戰闘ニ參加シ テハ海軍ノ任 務遂行ニ盡力 セル部外者
奏任官	待遇	奏任官	待遇	奏任官	待遇	奏任官	勅任官タルノ 經歷ヲ有スル 者及民間會社 ノ重要職員、 戰闘ニ參加シ テハ海軍ノ任 務遂行ニ盡力 セル部外者
判任官	待遇	判任官	待遇	判任官	待遇	判任官	勅任官タルノ 經歷ヲ有スル 者及民間會社 ノ重要職員、 戰闘ニ參加シ テハ海軍ノ任 務遂行ニ盡力 セル部外者
職員	船務方、通信 技手、水夫長、 火夫長、大工、 司廚長、舵取、 油差、甲板倉 番、機關倉番、 厨方倉番、司 厨、實習生徒	船務方、通信 技手、水夫長、 火夫長、大工、 司廚長、舵取、 油差、甲板倉 番、機關倉番、 厨方倉番、司 厨、實習生徒	船務方、通信 技手、水夫長、 火夫長、大工、 司廚長、舵取、 油差、甲板倉 番、機關倉番、 厨方倉番、司 厨、實習生徒	船務方、通信 技手、水夫長、 火夫長、大工、 司廚長、舵取、 油差、甲板倉 番、機關倉番、 厨方倉番、司 厨、實習生徒	船務方、通信 技手、水夫長、 火夫長、大工、 司廚長、舵取、 油差、甲板倉 番、機關倉番、 厨方倉番、司 厨、實習生徒	船務方、通信 技手、水夫長、 火夫長、大工、 司廚長、舵取、 油差、甲板倉 番、機關倉番、 厨方倉番、司 厨、實習生徒	使役人夫ノ監 督、事務員等
傭人	上級一等水 夫、上級火夫、 一等料理人、 二等水夫、 下級一等火 夫、下級火夫、 石炭夫、三等 料理人、給仕	上級一等水 夫、上級火夫、 一等料理人、 二等水夫、 下級一等火 夫、下級火夫、 石炭夫、三等 料理人、給仕	上級一等水 夫、上級火夫、 一等料理人、 二等水夫、 下級一等火 夫、下級火夫、 石炭夫、三等 料理人、給仕	上級一等水 夫、上級火夫、 一等料理人、 二等水夫、 下級一等火 夫、下級火夫、 石炭夫、三等 料理人、給仕	上級一等水 夫、上級火夫、 一等料理人、 二等水夫、 下級一等火 夫、下級火夫、 石炭夫、三等 料理人、給仕	上級一等水 夫、上級火夫、 一等料理人、 二等水夫、 下級一等火 夫、下級火夫、 石炭夫、三等 料理人、給仕	其ノ他
<p>一、判任待遇以 上ノ賜託ハ現 給本俸ヲ基礎 トス</p> <p>二、雇員傭人ノ 報酬額ハ日額 二圓五十錢 (月額七十五 圓)以内トス</p>							

備考 (一) 徵備船船乗組員ニシテ海陸軍ニ籍ヲ有スル者ハ其ノ階級ニ應ジ適宜之ヲ加味シ軍屬ノ階級ヲ決定スルコトヲ得

(二) 従軍記者及畫家ニシテ事變地ニ於テ戰病死セル者ハ無報酬ノ賜託トス

○艦船所在 △印ハ「ハホ」ヲ指定ヲ要セズ

○十二月九日午前十時調

【横須賀】 對馬、夕張、鳳翔、五十鈴、山城、春日、

長門、陸奥、那珂、島海、摩耶、

蒼龍、木曾、赤城、利根、神威

▽晚、漣、狹霧、天霧、朝霧、夕霧、

▽秋風、羽風、太刀風、夕風、沖風、

▽伊二、伊一、伊四、伊五、伊七、

富士、洲崎、鳴戸、襟裳

(飛龍) (高崎) (劍崎) ▲

【長浦】 夏雲、朝雲、峯雲、神風、響、雷、電、

山雲

呂五四、呂五五、呂五六、呂五八、

伊三、伊六、伊一二三、伊一二四

【石川島】 (掃一〇) ▲

【浦賀】 北上 ▲

(霞) (不知火) (掃八) ▲

【館山】 澤風 ▲

【大湊】 波風 ▲

大泊

【函館】 吳竹 ▲

【吳】 矢矧、韓崎、比叡、淀、淺間、扶桑、古鷹、

加古、大井、最上、日向、伊勢、鬼怒、

▽大鯨、▽熊野、鈴谷、三隈、▽神通、龍驤 ▲

夕顔、▽菊、葵、萩、▽薄、藤、葛、若竹、

早苗、▽初雪、白雪、吹雪、▽浦波、綾波、

▽矢風、▽東雲、白雲、薄雲、叢雲、朝風

呂五一、呂五三、呂二六、呂二七、

呂二八、▽呂三四、呂三三、伊五一、

▽伊五三、伊五五、▽伊五七、伊五六、

伊五八、▽伊七二、伊七三、伊七一、

▽伊六六、伊六五、伊六七、伊七四、

伊一二一、伊一二二、▽伊七〇、伊六八、

伊八 雁 攝津、間宮、石廊

(伊一六) ▲

【大阪】 (黒潮) ▲

【神戸】 伊五四、呂五七、呂五九 ▲

(瑞穂) (伊七五) ▲

【相生】 早靱 ▲

【玉】 (掃七) ▲

【因ノ島】 旗風、春風、松風 ▲

【江田内】 平戸 ▲

【別府】 (千代田) ▲

【舞鶴】 吾妻、高雄、長鯨、愛宕 ▲

敷波、磯波、帆風

伊五二 ▲

室戸

【佐世保】

(霞)▲(陽炎)▲(親潮)▲(掃九)▲  
標名、那智▲、常磐▲、名取、青葉、衣笠、  
能登呂 ▲霧島▲、金剛▲、由良、▷阿武隈、千歳▲

梨▲竹▲榎▲桃▲柳▲檜▲董▲▷水無月、  
長月、▷若葉▲、初霜▲、子日▲、初春▲、  
▷夕風▲、朝風▲、▷朝潮、大潮、滿潮、荒潮、  
峯風、▷如月、卯月、彌生、夕月▲、女月  
呂三〇▲、呂三一▲、呂三二▲、呂六〇▲、  
呂六一▲、呂六二▲、呂六四、▷呂六六、  
呂六五▲、呂六七、▷呂六八、呂六三、  
▷伊六三、伊五九、伊六〇、▷伊六四、  
伊六一、伊六二、伊六九  
敷島▲、鶴見

【長崎】

(明石)▲(伊一八)▲  
羽黒▲  
佐多▲  
(筑摩)▲

【鎮海】

【ホノルル】

【作業地】

▷出雲、▷安宅、鳥羽、勢多、堅田、比良、  
保津、熱海、二見、殿島、八重山、白鷹、  
▷川内、▷足柄、沖島、▷球磨、▷妙高、多摩、  
▷龍田、天龍、▷長良、▷加賀、勝力、迅鯨、  
▷嵯峨、▷磐手、八雲、駒橋

【航海中】

楡 (七日西水羅發—鎮海へ)  
野風 (九日那霸發—佐世保へ)

栗、梅、蓮、▷夕立、村雨、春雨、五月雨、  
▷白露、有明、夕暮、時雨、▷江風、海風、  
涼風、山風、▷芙蓉、朝顔、刈萱、▷菊月、  
陸月、望月、三日月、▷追風、疾風、▷蓬、  
蓼、菱、▷島風、汐風、灘風、旱月、▷臘、  
曙、潮、沼風  
▷隼、鶴、鴨、鴻、▷千鳥、初雁、友鶴、  
真鶴、▷鳩、鷺、雉  
▷掃一、掃二、掃三、掃四、掃五、掃六、  
▷掃一六、掃一三、掃一四、掃一五、掃一七、  
掃一八  
▷朝日、膠州、隠戸、知床、野島

(限 内 部)

海軍公報

(部内限) 第三千八十三號

昭和十三年十二月十日(土)

海軍大臣官房

○通牒

經豫第七號ノ二二三

昭和十三年十二月九日

海軍省經理局長

各支出官殿

外貨拂ニ關スル件通牒

支出官事務規程第二十條ニ依ル外貨拂(時價送金)ニシテ本年内又ハ來年早々支拂ノ爲協議ヲ要スルモノハ十二月十三日迄ニ當局ニ調書提出相成度

○辭令

山本 武夫

第三艦隊ニ於ケル事務囑託ヲ解ク

渡邊 康策  
小澤 清

(各通)  
支那方面艦隊ニ於ケル事務ヲ囑託シ部内限奏任官待

遇トス

海軍省事務ヲ囑託ス(以上皆前海軍省)

農林技師 古谷 謙

第一課兼第十課勤務ヲ命ス

海軍中佐 浦孝 一

第二課兼第一課勤務ヲ命ス(以上皆前海軍省教育局)

海軍中佐 貴島 掬徳

○雜款

○司令驅逐艦復歸  
第二十五驅逐隊司令ハ十二月九日司令驅逐艦ヲ朝潮ヨリ大潮ニ復歸セリ

○郵便物發送先

驅逐艦夕風宛  
十二月十二日迄ニ到達見込ノモノハ  
其ノ後ハ  
大 須賀  
小 湊

驅逐艦波風宛

海軍公報(部内限) 第三千八十三號 昭和十三年十二月十日

一四四九

1262

十二月十四日以後

横須賀

軍艦名取宛

自今

佐世保郵便局氣付

第八戰隊司令部宛

十二月十一日迄ニ到達見込ノモノハ

横須賀 軍艦那珂

其ノ後ハ

佐世保 軍艦由良

○艦船所在 指定ヲ要セズ

○十二月十日午前十時調

【横須賀】 對馬、夕張、鳳翔、五十鈴、山城、春日、

長門、陸奥、那珂、鳥海、摩耶、

蒼龍、木曾、赤城、利根、神威、

曉、漣、狹霧、天霧、朝霧、夕霧、

秋風、羽風、太刀風、夕風、沖風、

伊二、伊一、伊四、伊五、伊七、

富士、洲崎、鳴戶、襟裳、

飛龍、高崎、劍崎、

【長浦】 夏雲、朝雲、峯雲、神風、響、雷、電、

山雲

呂五四、呂五五、呂五六、呂五八、

伊三、伊六、伊一二三、伊二四、

【石川島】 (掃一〇) ▲

【浦賀】 北上 ▲

(霞) ▲ (不知火) ▲ (掃八) ▲

【館山】 澤風 ▲

【大湊】 波風 ▲

大泊

【國館】 吳竹 ▲

【吳】 矢矧、韓崎、比叡、淀、淺間、扶桑、古鷹、

加古、大井、最上、日向、伊勢、鬼怒、

大鯨、熊野、鈴谷、三隈、神通、龍驤、

夕顔、菊、葵、萩、薄、藤、葛、若竹、

早苗、初雪、白雪、吹雪、浦波、綾波、

矢風、東雲、白雲、薄雲、叢雲、朝風、

呂五一、呂五三、呂二六、呂二七、

呂二八、伊五一、伊五三、伊五五、

伊五七、伊五六、伊五八、伊七二、

伊七三、伊七一、伊六六、伊六五、

伊六七、伊七四、伊一二一、伊一二二、

伊七〇、伊六八、伊八

雁 攝津、間宮、石廊

(伊一六) ▲

【大阪】 (黒潮) ▲

【神戸】 伊五四、呂五七、呂五九 ▲

(瑞穂) ▲ (伊七五) ▲

【相生】 早鞆 ▲

【玉】 (掃七) ▲

【因ノ島】 旗風、春風、松風 ▲

【江田内】 平戸 ▲

【別府】 (千代田)

吾妻、高雄、長鯨、愛宕 ▲

【舞鶴】 敷波、磯波、帆風

伊五二 ▲

室戸

【佐世保】

(叢)▲(陽炎)▲(親潮)▲(掃九)▲  
榛名、那智▲、常磐▲、名取、青葉、衣笠、  
霧島、金剛▲、由良、阿武隈、千歲▲、  
能登呂

梨▲、竹▲、榎▲、桃▲、柳▲、檜▲、萱▲、水無月、  
長月、若葉▲、初霜▲、子日▲、初春▲、  
夕風▲、朝風▲、大潮、朝潮、滿潮、荒潮、  
峯風、如月、卯月、彌生、夕月▲、文月

呂三〇▲、呂三一▲、呂三二▲、呂六〇▲、  
呂六一▲、呂六二▲、呂六四、呂六六、  
呂六五▲、呂六七、呂六八、呂六三、  
伊六三、伊五九、伊六〇、伊六四、  
伊六一、伊六二、伊六九

敷島▲、鶴見

(明石)▲(伊一八)▲

【長崎】

羽黒▲  
佐多▲  
(筑摩)▲

【鎮海】

葦、柿、楡  
尻矢

【作業地】

出雲、安宅、鳥羽、勢多、堅田、比良、  
保津、熱海、二見、嚴島、八重山、白鷹、  
川内、足柄、沖島、球磨、妙高、多摩、  
龍田、天龍、長良、加賀、勝力、迅鯨、  
嵯峨、磐手、八雲、駒橋

【航海中】

野風 (九日那霸發—佐世保へ)  
呂三四、呂三三 (九日吳發—佐世保へ)

栗、梅、蓮、夕立、村雨、春雨、五月雨、  
白露、有明、夕暮、時雨、江風、海風、  
涼風、山風、芙蓉、朝顔、刈萱、菊月、  
睦月、望月、三日月、追風、疾風、蓬、  
菱、島風、汐風、灘風、阜月、朧、  
曙、潮、沼風  
隼、鶴、鷓、鴻、千鳥、初雁、友鶴、  
真鶴、鳩、鷺、雉  
掃一、掃二、掃三、掃四、掃五、掃六、  
掃一六、掃一三、掃一四、掃一五、掃一七、  
掃一八  
朝日、膠州、隱戸、知床、野島